

新しい薬学をめざして

Vol.51 No.9
2022.11.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8 E-mail sigma-info@faruma.co.jp
一般社団法人大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463
TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL http://pha.jp/shin-yakugaku/



ミニゼミ報告

「薬局薬剤師の業務及び薬局機能に関するワーキンググループのとりまとめ 厚生労働省」を中心に

中川直人

厚労省のワーキンググループ（以下、WG）は、2022年7月11日に「薬剤師が地域で活躍するためのアクションプラン」と題した報告書をまとめたので、その内容を紹介する。

本WGのとりまとめに至った経緯は、次の通りとされている。

- 1) 地域医療を担う一員として、薬剤師の役割や期待が大きくなっていること。
- 2) ICT等の技術が発展し、薬剤師を取り巻く環境が変化していること。
- 3) 「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」のとりまとめにおいて、患者のための薬局ビジョン（注1）の達成状況等を踏まえつつ、薬局薬剤師の業務について検討することとされたこと。

（注1）患者のための薬局ビジョン：薬局を患者本位のかかりつけ薬局に再編するためとして、2015年に策定された。

とりまとめの基本的な考え方として、以下の観点が挙げられている。

- 1) 対人業務の更なる充実：処方箋受付時以外の対人業務の充実が必要。また、対物業務を含む対人業務以外の業務の効率化が不可欠。
- 2) ICT化への対応：各種医療情報を活用して、薬局薬剤師デジタルトランスフォーメーション（以下、DX）を実現していくことが必要。
- 3) 地域における役割：地域全体に必要な薬剤師サービスについて、地域の薬局全体で提供していくという観点が必要。

目次

□ミニゼミ報告「薬局薬剤師の業務及び薬局機能に関するワーキンググループのとりまとめ 厚生労働省」を中心に 中川直人…… 233	□芳香族アミンによる職業がんの損害賠償裁判をめぐって（その7） 堀谷昌彦 …… 244
□2022年薬害根絶デー in 札幌の報告 野村充代 …… 236	□「めざして」の編集責任者を交代します。 三原啓子 …… 248
□福島がいま（その84） 国の責任を認めない最高裁判決で生業裁判は終わるのか 佐藤政男 …… 238	□玉枝の平和だよりから（13） 元首相の国葬反対 中村玉枝 …… 250
	□2022年度第4回運営委員会報告 …… 252
	□2022年度第5回運営委員会報告 …… 253